

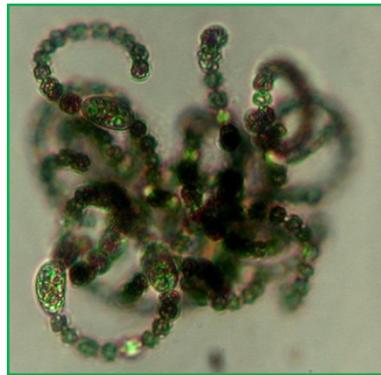
瀬田川プランクトン調査結果速報

～第24報～

滋賀県琵琶湖環境科学研究センター
環境監視部門 生物圏係
平成28年9月12日

1. 最も数が多かった種類(優占種)

植物プランクトン第1優占種



Anabaena flos-aquae
(アナベナ フロスアクアエ)
藍藻綱

細胞は球形ないし樽型で、不規則に曲がる糸状体を形成し、しばしば絡み合って塊をつくる。異質細胞は球形であり、アキネートは長い楕円形で少し曲がる。

動物プランクトン第1優占種



Filinia longiseta
(ナガミツウデワムシ)
輪虫類

体は透明な卵円形の袋状で、長い3本の肢を持つ。胴部の前端両側から著しく長い前肢が2本出ており、後肢は1本で胴腹面後端より幾らか上から出ている。

コメント

植物プランクトンでは、藍藻に属するアオコ形成種アナベナ・フロスアクアエ (*Anabaena flos-aquae*) が先週に引き続き5週連続で優占種となった。体積で見ても、アナベナ・フロスアクアエが優占種となった。本種はかび臭生成が認められていない種である。綱別の体積では、藍藻類が総体積の約92%と大部分を占めた。動物プランクトンでは、ワムシのなかまのナガミツウデワムシ (*Filinia longiseta*) が280個体/Lで優占種となった。ピコ植物プランクトンは、46,000細胞/mLで、そのうち輝橙色のものが88%、深赤色のものが12%であった。

2. 見つかった主なプランクトンとその数(個体数)

(1) 動物プランクトン

第 1 優 占 種		個体数 (個体/L)
ワムシ類	<i>Filinia longiseta</i>	280

第 2 優 占 種		個体数 (個体/L)
ワムシ類	<i>Trichocerca</i> sp.	200

* 個体数については、プランクトンネットNXXX25(目合い41μm)で採取したものを直接検鏡して計測した。

瀬田川植物プランクトン調査結果速報

滋賀県琵琶湖環境科学研究センター
環境監視部門 生物圏係

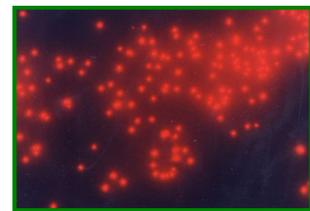
(2) 植物プランクトン

平成28年9月12日

第24報

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)		
		数	体積
(藍) <i>Microcystis aeruginosa</i> *	80		○
(藍) <i>Microcystis wesenbergii</i> *	20		
(藍) <i>Microcystis novacekii</i> *	20		
(藍) <i>Microcystis</i> sp.*	1		
(藍) <i>Aphanothece clathrata</i> *	100		
(藍) <i>Chroococcus dispersus</i> *	40		
(藍) <i>Aphanizomenon flos-aquae</i> *	100		
(藍) <i>Anabaena macrospora</i> *	80		
(藍) <i>Anabaena affinis</i> *	200	○	
(藍) <i>Anabaena flos-aquae</i> *	800	◎	◎
(珪) <i>Aulacoseira granulata</i>	80		
(珪) <i>Cyclotella</i> sp.	120		
(珪) <i>Stephanodiscus pseudosuzukii</i>	20		
(珪) <i>Synedra acus</i>	20		
(珪) <i>Cocconeis placentula</i>	20		
(珪) <i>Navicula</i> sp.	20		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	120		
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	180		
(緑) <i>Chlamydomonas</i> sp.	80		
(緑) <i>Eudorina elegans</i>	128		
(緑) <i>Pediastrum duplex</i>	32		
(他) その他の植物プランクトン	20		
(藍) 藍藻綱	1441	63.2	92.2
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(珪) 珪藻綱	280	12.3	3.4
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	300	13.2	2.5
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	240	10.5	1.8
(他) その他のプランクトン	20	0.9	0.0
総 細胞 数	2281	総体積	9.20E+06
種 類 数	22	(μm ³)	

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/mL)
ただし*印の種は群体数(群体/mL)
- 注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位: %)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。



ピコ植物プランクトン
1,000倍G励起で撮影

(3) 見つかったピコ植物プランクトンとその数(細胞数)

ピコ植物プランクトン数	9月12日 細胞数/mL
藍藻類 <i>Synechococcus</i> sp.	46,000

注1) プランクトンを大きさ別に分類したとき、大きさが0.2~2μm(1μmは1mmの1,000分の1)の最も小さなランクのものをピコプランクトンと呼んでいます。この中で光合成色素を持つものをピコ植物プランクトンと呼んでいます。ピコ植物プランクトンは細菌と同じくらい小さいので、落射蛍光顕微鏡を用いて観察し計数します。G励起(緑色光照射)で輝橙色に輝く種類と深赤色に見える種類があります。